

関係企業ら約140名出席

シクロケム 創立10周年パーティー開催

年間成長率10%維持目指す

【榊シクロケム(神戸市中央区)は7月20日、創立10周年パーティーを東京都港区にあるホテルオークラ東京で開催した。会場にはクライアントのほか、ドイツのシクロデキストリン(CD)メーカーであるワッカーケミー社、バイオソリューションズのゲーハート・シュミット社長が出席グループ会社社員なども合わせ139名が集まった。



出席者に感謝の言葉を述べる寺尾啓二社長

冒頭の挨拶に立った寺尾啓二社長は、出席者に感謝の言葉を述べた後、「2002年にシクロケムを立ち上げたが、当時ワッカーケミーから譲り受けたビジネスは年商2億円。売上は殆どがファイナケミカル製品で、CDはごく僅か。しかし、シクロデキストリンで売上を立てないことには会社はやっていけない

と思う、神戸に研究所を建て、東京に営業所を構えた」と設立時の苦労を話した。

また、設立時の東京営業所は純正化学(株)の日本橋にあるビルの一室を借りていたことから、出席していた純正化学の矢野

徳男専務に謝意を表した。さらに、寺尾社長の実父が創業し、現在は実弟の寺尾邦弘氏が社長を務めるキョクトウ(株)からも、創業時にバックアップがあったことに感謝の意を示した。



樽酒の鏡開きで会場は盛り上がった

来賓祝辞では、ゲーハート・シュミット社長が、同社は海外でもCDの研究と応用の分野で、卓越した能力を持った企業として高く評価されていると紹介。また、同グループの成功は新製品

開発や数多くの特許、研究の受賞歴が証明していると述べた。

パーティーの途中では寺尾社長が同社とグループ会社の業績を紹介。シクロケムは2012年度の売上高が12億円になることがほぼ確実で、毎年20%成長していることを明かした。また、シクロケムバイオも同年度は6億円、コサナも同年度3億円の売上高になるとし、グループ全体では年間成長率は27%になることを公表した。さらに、2022年まで年間成長率10%を維持するとともに、年間売上高は64億円を目標にすることを明らかにした。